

み・う・し NEXT

北区GIGAスクール構想通信



— 教育DXで広がる子どもたちの学び —

令和8年
9月号

<https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/schools/1018650/1018654.html>

東京都北区教育委員会教育振興部 教育DX推進課 (03-3908-9273)

研修会レポート①

教育委員の皆さんが「きたコン」を体験!

8月24日、北区教育委員の皆さんを対象に、「きたコン」体験会を実施しました。これまで「きたコン」を活用した授業を何度も参観する中で、「自分たちも子どもたちと同じように、きたコンを使った授業を体験してみたい」との声が寄せられ、今回の体験会が実現しました。

当日は、二つの活動に挑戦しました。一つめは、教育委員の皆さんが児童・生徒役となり、授業支援アプリ「ロイロノート」を使う体験です。教師役の教育DX推進課職員から課題カードを受け取り、簡単なスライドを作成して提出するという、実際の授業に近い流れを体験しました。

二つめは、職員が生成AIで作成した「歴史上の人物にインタビューしよう」という教材の利用です。それぞれが選んだ人物との対話を楽しみながら深堀りしていました。大谷翔平選手まで登場した場面では、大いに盛り上がりました。

体験後には、パソコンが苦手な子どもへの支援や、学校で生成AIをどの程度活用していくのかなど、多くの質問が寄せられました。教育委員の皆さんのICT教育への関心の高さが伝わる、有意義な体験会となりました。



教育DX推進課長からは、生成AI活用授業など北区のデジタル活用教育の説明もありました。

研修会レポート②

教育DXリーダー研修会を開催しました

8月26日、北区立学校の教育DXリーダーの先生を対象とした研修会を開催しました。今回は、Googleの方を講師にお迎えし、Googleの生成AI「Gemini」に備わっている様々な機能と、それらを教育活動にどのように生かすことができるのかについて、実際に「きたコン」を操作しながら学びました。

参加した教育DXリーダーの先生方は、日頃から授業や校務でICTを積極的に活用しています。しかし、Geminiにはこれまで知らなかった機能も多かったようで、新しい機能や活用方法が紹介されるたびに会場から驚きの声が上がっていました。

特に先生方が関心を寄せていたのは、子どもたちの学びを支援するための機能です。生成AIがすぐに答えを示すのではなく、問いかけやヒントを通して子ども自身が考えを深められるように応答する機能が紹介されると、皆さん真剣な表情で説明に耳を傾けていました。生成AIを単に「答えを教える道具」として使うのではなく、考える過程を支える学習のパートナーとして活用する可能性を感じる機会となりました。

研修後には、「9月からの授業で、すぐにも使ってみたい機能がたくさんありました」「生成AIは授業だけでなく、校務にも大いに活用できることが分かりました」といった、意欲的な感想が寄せられました。

今回学んだ内容は、各校の先生方にも共有されます。教育DXリーダーを中心に、子どもたちの学びをより豊かにするとともに、教職員の業務の効率化にもつながる生成AIの活用を、今後も進めていきます。



すでに先生も思いつく、課題を解決するアイデアが、授業で実践されています。

北区GIGAスクール構想通信『みらいNEXT』は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、教育DX推進課が毎月発行いたします(8月以外)。

きたちゃん こん本 コンちゃん

by Toshi & Chappy



先生たちの学びが授業を変える!

教育DX推進課では、先生方のICT活用を支えるため、毎年7月下旬に「夏季ICT活用研修」を4日間実施しています。今年は、のべ363名の先生方が参加しました。

Google付属のアプリをはじめ、デジタル・シティズンシップ教育、ロイロノートの基礎・実践、ドリルパーク、画面共有アプリ「WinBird」、プログラミング教育、アドビ・エクスペス、生成AIなど、幅広い内容を学びました。先生方も学びを重ね、日々の授業づくりや校務に生かしています。